令和５年度　年間学習指導計画案

科目	現代の国語	単位数	２単位	学年・学科・コース	１年・普通科・普通コース、スポーツコース １年・衛生看護科
使用教科書	現代の国語（数研出版）			副教材等	普通：入試漢字 2600（筑摩書房） スポコ、衛看：総合文字力（尚文出版）

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	評価規準	評価方法
4 5 6 7	文化 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○			・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	
					○	・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
	情報 「ポスト・プライバシー」	・急速な情報化によって「個人のアイデンティティ」および「プライバシー」が変容していることに気づき、筆者の主張を理解したうえで考察を深める。	○			・推論の仕方を理解し使っている。	
				○		・「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈したり自分の考えを深めたりしている。	
					○	・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
	情報 「デジタルメディア時代の複製」 言語活動 対比する	・本文で述べられている「原形芸術」と「複製芸術」の違いを正確に理解したうえで、自分の考えを加えながら、「運動会は複製芸術ではない」という内容を論述する。	○			・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	
				○		・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	
			○			・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	
	社会 「政治的思考」	・どのような態度で「政治」に向き合うべきかについての筆者の主張を読み取り、民主主義について考えを深める。	○			・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を理解している。	
				○		・「読むこと」において、文章に含まれている情報を関連付けながら内容を理解するとともに、自分の考えを深めている。	
					○	・筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察しようとしている。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8 9 10	言語 「ものとことば」	・言葉によって「もの・こと」は認識されるのであり、言葉が変わることによって認識される対象も変わるという唯名論的考えについて理解する。	○			・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を理解している。	
					○	・筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切に論述しようとしている。	
	環境 「動物園というメディア」	・本文の具体例を踏まえて、筆者の述べる「人間と自然との意味のある関係性」を理解する。	○			・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	
				○		・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	
					○	・筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。	
	言語 「事実なのか考えなのか」 言語活動 解釈を述べる	・「事実」と「考え」というキーワードについて、筆者の定義を踏まえて論旨を捉える。	○			・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。	
				○		・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかを確かめて文章全体を整えたり、他者の助言を踏まえて自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。	
					○	・読み手を意識した構成・展開を積極的に考えようとしている。	
11 12	社会 「浪費を妨げる社会」	・ボードリヤールの対立概念と筆者の主張を結びつけて理解したうえで、消費社会の問題を自分のものとして捉える。	○			・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を理解している。	
				○		・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	
					○	・筆者が論じる問題を積極的に自分に引きつけて考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
	思想 「他者を理解するということ」	・一般的に言われる「他者理解」に違和感を持つ筆者が、他者理解のあり方をどのように考えているか、文脈に沿って正しく理解する。	○			・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。	
				○		・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	
					○	・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	
1 2 3	思想 「無痛化する社会のゆくえ」 言語活動 意見を述べる	・「周囲とのバランスが条件」の内容を的確に理解し、「日本人の幸福感」について、その理由も含めてわかりやすく説明する。	○			・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	
					○	・関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	
	芸術 「絵を前に思いをめぐらす」 言語活動 関連づける	・美術作品を鑑賞する意味について、本文の理解と新聞記事を適切に関連付けて意見を述べる。	○			・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	
				○		・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話すなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	
					○	・テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを発表しようとしている。	